

史料にみる **歴史**

「日高アイヌ・オムシャ之図」と アイヌ交易の変化

〔社会科 中学生の歴史〕p.105掲載

函館市中央図書館所蔵

本絵図は『日高アイヌ・オムシャ之図』といい、右端に「屏山」の署名があることから、19世紀中頃に多くのアイヌ絵を残した平沢屏山が描いたものであると思われる。「オムシャ」とは、アイヌ語で「あいさつ」の意味があり、本来は交易に訪れた客人を歓待するための行事であった。オムシャの語源としては、日本語の「おびしゃ(御奉射)」「おぶしゃ(御撫謝)」の転訛説とアイヌ語の御無沙汰のあいさつとして互いの頭を撫でる儀式「ウムシャ」に由来するという説がある。のちにアイヌに対する支配・服従関係を誓約する儀礼として「恩謝」という当て字が当てられる場合もあった。

アイヌの人々は13世紀頃から蝦夷地を拠点として、本州の和人や樺太や大陸の人々と自由な交易を行っていた。その後、16世紀末に松前藩が成立すると、アイヌの人々との貿易は松前藩に独占されていった。松前藩は米が収穫できない「石高0」の特殊な藩であったため、藩の財政はアイヌとの交易によってまかなわれることになる。この仕組みは「商場知行制」と呼ばれ、蝦夷地の中をいくつもの「場所」に区切り、家臣に支配させ、家臣はそこでアイヌとの交易で得た品を本州の米やその他の食料、日用品と交換して生活していたのである。このとき、年に1、

2回(7~9月頃)の行事として「オムシャ」が行われていた。場所の中心にある「運上屋」(会所)にアイヌの人々を集め、米や酒などをふるまい、場所の規則を申し渡す儀式であった。最初は交歓の意味での儀礼であったが、のちに交易や漁労の終了時のアイヌに対する慰労的な行事となっていった。

しかし、本絵図をみると、座敷の奥に座っている松前藩の家臣と手前の正面に座っているアイヌとでは、明らかに上下関係があると見える。それは、江戸時代初期に起こった「シャクシャインの戦い」をきっかけに、松前藩とアイヌの人々の関係が変化したことによる。それまで松前藩とアイヌはほぼ対等の関係であり、安定した交易が行われていたが、松前藩は江戸幕府から「アイヌとの交易の独占権」を与えられ(家康の黒印状)、徐々にアイヌにとって不利益な交易を要求するようになった。これに反発したシブチャリ(静内、現在の新ひだか町)の首長であったシャクシャインが1669年、松前藩に対して蜂起したが、結局だまし討ち(酒宴の席で毒殺されたといわれる)に遭い、アイヌの蜂起は鎮圧される。その後、松前藩は蝦夷地におけるアイヌ交易の絶対的主導権を握り、アイヌに対する経済的・政治的支配は強化された。この頃から「オムシャ」の儀式も松前藩への服従の儀式に変わっていったのである。

江戸中期(18世紀)以降になると、アイヌとの交易は、松前藩の家臣が自分たちに与えられた交易権を商人に委託し、商人から一定の運上金を得る方法に変わっていった。これが「場所請負制」である。商人たちは、漁場での労働力に多くのアイヌの人々を働き手としてかり出し、アイヌ統治の手段として「オムシャ」を行っていった。

本絵図を見ると松前藩の人たちは座敷内にあって、アイヌの族長たちはその下方の土間にむしろ蓆を敷き、そこに座して礼拝し、形のうえでも服従を表すように変化していった。アイヌの族長たちは役蝦夷(やくえぞ)と呼ばれ陣羽織を着せられていた。不思議なことに、この陣羽織の背中には紋があり、薩摩藩島津家の家紋のように見える。また、他の陣羽織には兔紋がついており、あきらかにアイヌ紋様とは異なっていることがわかる。おそらくこの儀式のために松前藩側から与えられ、着せられたものではないかと考えられる。アイヌ独自の文化を封印するかのような印象が受け取れる。さらに、土間と門のところにいるアイヌは一般のアイヌの人々であり、髪型で大人と子ども、男性と女性の区別がつく。額の上と頭頂部に髪の毛を残しているのが子どもで、額の上の髪の毛を剃って髭を生やしているのが男性である。またこの人たちは普段着であると考えられ、みな同じような衣服を着ているのがわかる。このような「オムシャ」では、アイヌの人々に対して、公儀に従うことや親孝行をすることなどを掟書として読み聞かせ、役蝦夷の任免や役料の下賜などを行って酒宴でもてなした。座敷前に並べられた品々は、松前藩への献上品で「昆布」と思われる。昆布の収穫の最盛期が7、8月なので、本絵図は9月頃のものではないかと考えられる。「オムシャ」はその後、松前藩に代わって幕府が直接統治した時代も、諸藩が分割して蝦夷地を治める時代になっても行われており、明治時代になって禁止令が出されるまで続いていた。

本絵図は、18~19世紀中頃のアイヌと松前藩の関係を表している貴重な資料といえる。

(北海道公立中学校教諭)



所蔵・写真提供：函館市中央図書館